

ながたに暮らし体験記



長谷で本物を見つけました!

20年以上前の話です。九州の20水系の国直轄河川の中には、近代産業を支えるべく護岸工事をガンガンと進めてきた「遠賀川」がある一方、そのようなこともなく、近代化の波に取り残されたようにゆったりと田園地帯を流れていた「矢部川」。当時は、整備が進んだ立派な河川が「遠賀川」で、「矢部川」は整備が遅れている河川といわれていました。が、河川環境という概念が生まれ、川の環境の重要性が指摘されると、いままでどん尻扱いを受けていた「矢部川」が、『180度回れ右』の号令がかかったかのように、自然と調和した川、自然豊かで魅力あふれる川の先頭になっていました。

今回のワークショップ(11/25・26日の勉強会)で話を進めるうち、世の中から取り残されたような印象を持つ「いわゆる中山間地」の長谷地区も、『本物に囲まれた生活』というキーワードが世に広がれば、「矢部川」と同じようなポジションにいるのではないかと考えるようになりました。

取れたてのキュウリ・トマト・さつまいも・大根等の野菜を生嚼りするおいしさの話、心の底から温まることができる薪でくべるストーブや五右衛門風呂の話、夜空に輝く満天の星や川面に乱舞するホタルの話などなど、長谷地区に住んでいる方々が、毎日の生活の中で当たり前のように享受している「とてつもなく贅沢な生活」の話。

便利さや見てくれを優先させてきた都会者にとっては、これらの話は、驚きであり、魅力的であり、羨ましい限りです。

今回のワークショップを切っ掛けに、この『本物に囲まれた生活』の価値を地元の方々に再認識してもらい、長谷地区が『本物に囲まれた生活』の発信基地となることを期待してやみません。

(矢ヶ部 輝明)



◀ 団子汁づくりにチャレンジ



2016年12月7日発行

来ちみなあ 5号

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」(和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅)での活動を紹介する通信です。発行:「来ちみなあハウス」店子グループ

共助研からの伝言

勉強会を開催し、長谷の良さを生かすプランを作成!

11月25日(金)・26日(土)に、来ちみなあハウスと黒松生活改善センターを会場として、地域づくりの勉強会(共助研主催)を開催しました。

福岡方面から8名の建設コンサルタント技術者が訪ずれて、長谷の方々や豊後大野市地域創生課の方々と一緒に、長谷にある様々な資源(自然、農業、暮らし、伝統など)を活かした地域づくり・しごとづくりのアイデアを検討し、2つのプランを練り上げました。

【ぶんごる食堂(まだ仮称です)プラン】

長谷で普通に体験できる『本物に囲まれた生活』。これを多くの方々に再確認していただく場所を「来ちみなあハウス」に作りましょう。地元の方々には、「えっ!そんな普通のこと?」と不思議がられる体験も、マチの者には大変うらやましいことなのです。

【川・里体験プラン】

長谷にある川・雑木林・田んぼなど。皆さんが日頃普通に接しているこれらの自然環境を、面白く楽しい体験の場としてマチの人びとにも開放する。..その仕掛けづくりと一緒に考えてみませんか。

ながたに風



おやつ作りに挑戦

11月25・26日の共助研さん主催の「田園回帰勉強会」で、柴北川レディースが食事作りでお手伝いをし、田舎体験チームの波木さん、矢ヶ部さん、松尾さんの三人に地元で伝わるおやつ作りに挑戦していただきました。

「地元おやつ」を残したいので、何も知らない人でも作れるようなレシピが欲しいとの声があり、作った経緯がありました。当日はそのレシピが役立ちました。

「石垣餅」と「じり焼き」の二種類に挑戦していただき、芋の皮むき、粉ふるい、水の量等の確認をしながら作業しました。その様子はビデオに収められましたが、お三人のエプロン姿がお似合いでしたのでビデオを見てみたいものです。

夜の交流会には持ち寄りの食材でオードブルを作り、「団子汁」も炊きました。福岡からの皆さんに団子を伸ばして入れていただいたのですが、その様子がまた楽しく、大笑いしながら作りました。

二日目も朝食と昼食(カレーと野菜サラダ)を提供させていただき、忙しい二日間でしたが、みんなと一緒にできる楽しさを体験できた有意義かつ貴重な時間でした。おやつ指導に対するお礼もいただき、貴重な体験をさせていただいた共助研の皆様にお礼申し上げます。

皆さんに満足いただけたかどうか、それが心配ですが。(柴北川レディース会長:甲斐能美)



「来ちみなあハウス」の使用について

- ハウスは一時使用が可能です。店子会員でなくても、ハウスの一時使用は可能です。使用料は不要ですが、維持管理のために寄付をお願いします。
- お問い合わせ等は、店子グループ「管理人」まで。
 - ・波木健一(共助研・事務局)
 - ・渡邊雪法(柴北川を愛する会・事務局長)